

平成30年度事業計画書

NPO法人千葉盲ろう者友の会

1 事業実施の方針

平成30年度は、通訳・介助者の派遣事業と育成事業を軸にして以下のように事業を実施する。盲ろう者の自立と社会参加を促進するため、料理や個別コミュニケーション訓練等の生活訓練を行う。また、様々な盲ろう者へ対応できる通訳・介助技術を磨くための研修を行う。

千葉県内の市町村を訪問し、盲ろう者の現状を訴え、地域に引きこもっている盲ろう者が社会参加できるよう、盲ろう者の掘り起こし活動を行う。

盲ろう者と支援者の防災意識を高め、災害に備えるための災害対策を行う。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(円)
1. 生活訓練事業	1) 盲ろう者のための生活訓練を行う	随時	県内	6名	盲ろう者、約10名	245,000
	2) コミュニケーション技術を習得するために、勉強会を開催する(コミュニケーション勉強会)	月1回	千葉市	4名	コミュニケーション技術を身につけたい盲ろう者、約10名	0
	3) コミュニケーション技術を習得するための学習会(ユーザーサークル)	月1回	習志野市	4名	コミュニケーション技術を習得したい盲ろう者、約10名	0
2. 相談事業	1) 盲ろう者本人、家族、それらに関わる者に盲ろう者についての各種相談を実施する	随時	県内	4名	相談希望者	0
3. 通訳・介助者の育成事業	1) 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修会	9月～12月 22回	千葉市	6名	受講生20名	1,883,000
	2) 通訳・介助員の現任研修会	7月～2月 10回	千葉市	4名	登録通訳・介助員	596,000
	3) コミュニケーション勉強会	月1回	千葉市	4名	盲ろう者のコミュニケーション技術を習得したい方、約15名	0

	4) 盲ろう者のコミュニケーション方法の学習会（ユーザーサークル）	月1回	習志野市	4名	盲ろう者のコミュニケーション方法を習得したい方、約15名	0
	5) 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者研修会への参加	年1回	東京	会員1名		15,000
	6) 盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会への参加	年1回	埼玉	会員1名		15,000
4. 通訳・介助者の派遣事業	1) 盲ろう者に対し通訳・介助員を派遣する	通年	事務所	3名	登録盲ろう者33名	17,798,000
	2) 他団体に対し盲ろう者向け通訳・介助員を派遣する	随時	県内	3名	不特定多数	0
	3) 盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会への参加	年1回	埼玉	コーディネーター2名		20,000
5. 社会啓発事業	1) HPを有効的に利用し、活動内容を紹介する	随時	事務所	1名	不特定多数	0
	2) 会の案内を定期的に発行する（会報誌）	年6回	事務所	5名	会員、関係団体	60,000
	3) 市町村を訪問し、盲ろう者の掘り起こしを行う	10月～3月	千葉市、市原市他	7名	4市町村	25,000
	4) パンフレットの配布活動を行う	随時	県内	5名	不特定多数	10,000
	5) 盲ろう者への理解のためにコミュニケーション体験とバザーを行う	随時	千葉市他	12名	不特定多数	10,000
	6) 耳の日まつりに広告を載せる	3月	千葉市	1名	不特定多数	3,000
6. 交流促進事業	1) 月1回、交流会を開催する	毎月第3土曜日	四街道市他	6名	会員及び不特定多数	20,000
	2) 関係団体等と積極的に交流を図る	随時	県内	3名	不特定多数	0
7. 災害対策事業	1) 会報誌へのコラム掲載	随時	県内	4名	会員、関係団体	0
	2) ヘルプカード、カードホルダー配布	4月～3月	県内	2名	千葉県在住盲ろう者	0

	3) 体験学習	7月	東京都	4名	盲ろう関係者 30名	11,800
	4) 担当者研修	3月	松戸市	4名	担当者5名	5,000
8. その他、 本会の目的 を達成する ための事業	1) 全国盲ろう者団 体ニューリーダー育 成研修会への参加	年1回	千葉市	会員1名		15,000